



不明水について

はじめに、沖縄市の下水道は「汚水」「雨水」を区分して処理する「分流方式」を採用しています。

そのため、降雨時において、雨水が汚水管に流入すると、本来の排水能力が発揮できず、道路上のマンホールやマスから水が溢れたり、家庭内の排水処理が上手くいかないことなど、日常生活に影響を与えます。また、汚水を浄化・処理するためには、処理場やポンプ場において、多くの電力が必要となり、機械の過度な運転など、施設に大きな負担を与えます。



不明水とは？

下水道管（汚水）に、何らかの要因で、雨水や地下水などが流入することをいいます。

不明水の主な要因

下水道管の破損もしくはヒビ割れ箇所からの雨水・地下水の流入
マンホールもしくはマスの鉄蓋の破損、不具合からの雨水等の流入
宅地内の誤接続（雨水管を汚水管に接続、雨水管を汚水マスに接続など）
市においては、およびの取組として、「日常の点検・管理」「老朽化した管の更新」などを実施しています。
ただし、に関しては「家庭」「事業所」などにおいて、誤った下水道の配管になっているため、場所の特定が困難であります。

不明水の対策とお願い

沖縄市では、不明水対策として定期的に管路調査や修繕等を進めているところですが、家庭・事業所においても、「管・蓋の破損」や「誤接続」がないか、今一度ご確認するよう、お願いします。
また、大雨時において汚水管の排水能力を確保・軽減するため、不必要な水の使用を控えるよう、ご理解・ご協力をお願いします。